学校通信

矢巾町立矢巾北中学校

わだち

『緑風北魂』

友愛・躍動・創造

2022．06．22

No．10

〒028-3622
矢巾町大字上矢次 7-115
TEL：019-697-1921
FAX：019-697-7526
（文責：伊藤茂美）

回収にご協力ください

６月 19 日付の岩手日報誌面で紹介があったとおり、本校を含む町内の６施設で使い捨てコンタクトレンズの空きケース回収が始まりました。詳しくは、下段の新聞記事をご覧ください。早速、本校にも専用の回収ボックスが昇降口前廊下に設置され、翌日には早くも数個が入れられていました。中学生ではまだまだ使用率は低いと思いますが、ご家族で使用されている方の分もご提供頂ければと思います。本校生徒会も福祉委員会を中心に、SDGｓ取組を推進していますので、是非ご協力をお願いします。

使い捨てコンタクトレンズの空きケースは、ほぼ全ての商品がポリプロピレンという素材で作られており、非常にリサイクルに適している素材ですが、アイケア調べでは回収率が１％程度しかないのが実情のようです。小さくても有効活用できる素材ですので、燃えるゴミに出さず、回収に努めたいものです。

コンタクトケース回収でエコ後押し

町とHOYAアイケア協定

協定書を手にする橋本和武カンパニープレジデント（左）と高橋昌造町長

矢巾町は17日、コンタクトレンズ製造販売のＨＯＹＡアイケアカンパニー（橋本和武カンパニープレジデント）と、使い捨てコンタクトレンズ空ケースの回収に関する協定を結んだ。町内６カ所に回収ボックスを設置し、ごみの減量化や資源化の推進を後押しする。

締結式は町役場で行われ、高橋昌造町長と橋本カンパニープレジデントが事前に押印した協定書を確認した。高橋町長は「全町に思いを周知し、リサイクルの模範となるよう手を携えたい」とあいさつ。橋本カンパニープレジデントは「責任を持って回収し、確実に再資源化する。サポートは心強く、協力を賜りたい」と意気込んだ。

ケースは再資源化に適したポリプロピレンで作られており、同社はリサイクルによる収益を日本アイバンク協会に寄付する取り組みを2010年から続けている。回収ボックスは町役場、町公民館、やはばーく、ＪＲ矢幅駅のほか、矢巾中、矢巾北中にも設置される。同様の協定締結は全国の自治体で25市町村目で、東北では初めて。